

足立健康友の会

かばら支部ニュース

第100号

2016年11月17日
電話 3605-5594
http://kabara-tomon
okai.kenwa.or.jp/
mail:kabarashibu@ya
hoo.co.jp

蒲原健康まつり 好天に恵まれ五〇〇名交流 質の高い演目・多彩な模擬店

10月23日(日)、第三〇回蒲原健康まつりが開催されました。

一階の診療所待合室を使用した中央舞台では、実行

委員長の吉田万三蒲原歯科診療所所長からの開会挨拶・ご来賓の挨拶のあと、演芸のひろば。おなじみ桜遊会



は、蒲原グループ各事業所と地域の諸団体などの模擬店。売り子の声も

らをはじめ、フラダンス、シャンソン、コーラスの披露。質の高い演目で耳目を楽しませていました。演芸の最後は、会場からのリクエストによるうたごえひろば、会場一体となつてうたを楽しみました。



にぎやかで、食事関係はお昼前には多くの店が売り切れていました。バルンアトやおもちの病院、健康チエック、サークルの紹介など、多彩な内容となりました。

また今年で三〇回という節目を記念して、過去の健康まつりの写真・チラシなどによるふりかえりと、11月で一〇〇号を迎える「かばら支部ニュース」についての二つのパネル展示を行いました。

昼食休憩後の蒲原グループ事業所紹介のあとは、豪華景品(?)の当たるお楽しみ抽選会で盛り上がりました。

今年是好天に恵まれ、約五〇〇名の方にご参加いた

だきました。来年も楽しい健康まつりにするため、実行委員会中心に準備をすずめていきます。ご来場いただいたみなさんご協力いただいた職員・地域の方に感謝いたします。蒲原健康まつり実行委員会

かばら支部ニュース 皆様に支えられ100号

会員みなさんへ届いたニュースが第何号になるか、余り気にならないと思います。でも今回のニュースの号数をご覧下さい。おかげさまで100号になりました。創刊号は2008年2月20日の発行になっています。先輩格の「下町の健康」はこの10月で413号になりました。創刊は1981年12月です。

「下町の健康」や「かばら支部ニュース」はミニコミ紙に入ります。特定の少数の人達しか目に触れることはありません。それだけに「仲間内の話題」を集めたニュースと言えるでしょう。特に「かばら支部ニュース」の内容は、蒲原診療所グルー

プが活躍する足立区東部地域の話題が中心です。いつも見慣れた人達が登場します。一人一人の友の会員がどんな思いで、今の社会を見つめ、暮らしているかが分かります。また友の会として主催する各行事の紹介、その結果の記事など友の会を丸ごととらえることができます。

今後の課題は多くの会員みなさんが「私の健康法」や「私の故郷」その他、身近な意見などを投稿していただき、今まで以上に「支部ニュース」を通して会員の交流が活発になることです。みなさんの投稿をお待ちしております。



患者の要求から出発 全国交流会 笑って死ねる病院に 友の会・医療や介護を一緒に良くしていく仲間

9月はじめ石川県・加賀温泉郷で行われた交流集会に参加してきました。

はじめ、「共同組織って何っ?」ってよくわかっていなかったが、私たちの健康友の会のような団体が全国にあって各地域で活動しているその交流会なのです。

加賀市文化会館の全体会は

2千人。力強い御陣乗太鼓で歓迎を受け、記念講演は柳澤深志さん(城北病院副院長)。柳澤さんは3人の息子に送る手紙を書いたと話し始めました。城北病院を撮影したテレビ番組「笑って死ねる病院」は、終末期の患者の願いを現実すべく職員が奮闘するもの。通っていた床屋に行きたい、娘の結婚式に出たいなど、様々な願いに応える職員たち。なぜ、そこまで頑張ることができるのか。民医連の看護「患者の立場に立ち、患者の要求から出発し、患者と共にたたかう」息子たちにすこいだろうと話します。



第13回共同組織活動交流集会 加賀温泉郷

笑って死ねる病院には、「ご意見番という方が出てくる。職員でもなければ、入院患者でもない。病院と一緒に医療を良くしよう」と地域の方々だ。お父さんたちはこの組織を「共同組織」と呼んで、医

療や介護を一緒に良くしていくかけがえのない仲間だと思っている。全体会での講演は大きな拍手が起き感動しました。

二日目は分科会。私たちは「たまり場居場所づくりの実践の交流」に出席し、各地の具体的な活動を聞くことができました。

この地域、友の会かばら支部の活動は「決めるのは私たち、憲法をいかし平和・人権・環境を守るう、地域まるごと安心して住み続けられるまちづくり」のテーマでやっていて、全国と一体だなと感じる交流会でした。

次回は2年後神奈川県で行われました。送り出して下さりありがとうございました。

報告 美濃哲夫・桂子



健康講座大変盛況のうちに終了

健康講座第3課は10月19日に「生活習慣病と偏食」というテーマでみさと健和病院・管理栄養士の島根佐江子先生を講師に迎えました。1日に1000キロカロリーに1000キロカロリー余分にとると1年間に体重が約5キロ増える。どのようにしたら減量できるのか、どんな食生活をしたら生活習慣病を防げるのか等々、具体的な話が聞けました。参加者は41人でした。



第4課は11月2日「歯なしならない話」講師はみさと歯科診療所長の尾崎哲也先生。歯周病とは何かに始まり、全身の病気との関係についてま



でこれ以上ない位詳しく講義を聞いて、「歯周病」甘くみていたことを実感した人が多かったと思います。明日にも歯科を受診しようとする人が思ったのではないのでしょうか。参加者は47人でした。

今年の健康講座は毎回たくさんの方が参加して下さいました。ベ199人となりました。その中で4課すべてに参加して修了証をもらった人が18人(過去最高)もいました。また、新聞折り込みを見て参加した人も10人いて、全体では9人の方が友の会に入会して下さいました。来年度も多くの方に参加していただけないようテーマの検討をしたいと思っています。取り上げて欲しいテーマ等ありましたら役員までお知らせください。実行委員長 清水扶佐子